

平成27年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立池田高等学校

学校番号	20
------	----

I 自己評価

1 学校教育目標	校訓「向学・友愛・錬磨」の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期すとともに、持続可能な社会の発展に貢献できる人間の育成に努める。													
2 評価する領域・分野	◇生徒指導（教育相談）													
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> • 問題行動数は、一桁で推移している。交通事故数は、昨年度と比較して増加。頭髮や身だしなみについては、平成25年度よりイエローカードを導入し、大幅な改善がみられた。遅刻数も減少している。 • 今年度より、携帯・スマートフォンの使用時間を朝のSHRから、帰りのSHRまでを禁止とした。昨年度と比較して、休み時間をうまく利用する生徒も現れた。また、ネットパトロールでの違反者の数も激減した。 • 生徒指導の進め方については、入学式や育友会総会等において学校の指導方針を保護者に伝えるとともにHPや、配布物により、理解していただいている。 													
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇自己指導能力の向上 <ul style="list-style-type: none"> • 時間励行と明るい挨拶の実践 • 問題行動の未然防止、早期対応の徹底 ◇規範意識の向上 <ul style="list-style-type: none"> • 端正な身だしなみ • 交通ルールの遵守とマナーの習慣化 • 関係機関等との連携 													
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	生徒部会、企画委員会、各学年会、職員会議、各種委員会などを通じて、全職員の共通理解を図る。													
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標													
(1) 毎朝の遅刻指導。保護者・MSリーダーズによる挨拶運動（毎月15日）・教育相談週間（年2回）の実施 (2) 月はじめの再登校指導・年間を通してのイエローカードの実施 (3) 自転車点検・交通講話・育友会と連携した朝の交通指導、夜間防犯のための反射板の生徒への配布 (4) 揖斐郡内の小中との連携、他の高校との連携・必要に応じた警察との連携	(1) 欠席、遅刻者数の推移・問題行動、いじめの認知件数の増減。 (2) TPOに応じて、端正な身だしなみができているか。イエローカードの配布数。 (3) 交通事故件数の増減、不審者被害の増減。 (4) 必要に応じた情報の共有ができているか。													
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価												
<ul style="list-style-type: none"> • 生徒指導担当者、副担任を中心として、全職員が登校時に挨拶・遅刻指導を実施した。 • 教育相談、M2DV、迷惑調査を通して、気になる生徒や問題を抱えた生徒に接しながら「考え、自己決定させる」指導を実施した。 • 平成25年度より年間を通してのイエローカードによる指導を継続実施した。スカート丈、ボタン、また、携帯・スマートフォンのマナー違反の生徒には一週間の継続指導を課した。 	① 全職員による挨拶、遅刻指導ができたか。 ② 職員間で共通理解を持ち、M2DVや迷惑調査を受けての迅速な対応ができたか。30日を超える不登校生徒数の推移。 ③ TPOに応じた端正な身だしなみができているか。	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A</td> <td style="padding: 2px;">B</td> <td style="padding: 2px;">C</td> <td style="padding: 2px;">D</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">A</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B</td> <td style="padding: 2px;">C</td> <td style="padding: 2px;">D</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">A</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B</td> <td style="padding: 2px;">C</td> <td style="padding: 2px;">D</td> </tr> </table>	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
A	B	C	D											
A	B	C	D											
A	B	C	D											

<ul style="list-style-type: none"> 4月に業者による自転車点検を実施。また、揖斐警察署員による交通講話を実施した。 育友会と連携し、月1回朝の交通指導を実施した。また、危険箇所の見直しによる登下校のルート変更を実施した。 揖斐郡内小中高生徒指導連携強化委員会・学校警察連絡協議会への参加と情報交換、学校・警察とのサポート制度の活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ④ 交通事故が減少したか。安全を意識した自転車の乗り方ができているか。 ⑤ 保護者の協力が得られているか。 ⑥ 必要に応じて、関係機関等と連携し、効果を上げることができたか。 	<p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p> <p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p>
<p>11 成果・課題</p>	<p>○平成25年度より、身だしなみ指導の方策として、イエローカードを導入した。違反者には、5日間該当教員のサインをもらうという方式に変更した。それにより、女子のスカート丈や、男子のボタン等の身だしなみは以前と比較すると、大幅に改善された。</p> <p>○昨年度、携帯・スマートフォンの不適切な使用が目立ち、情報モラル違反が目出たため、今年度より、使用制限時間を朝のSHRから、帰りのSHRまでとした。それにより、休み時間をうまく利用する生徒も現れた。また、ネットパトロールでの違反者数も激減した。</p> <p>▲例年と比較して増加したのが、地域からの要望や苦情である。下校時の生徒の喫煙情報や、交通マナー違反等に関してのものが多かった。学年団と協力し、生徒部が率先して、学校周辺を見回っていきたい。</p> <p>▲今年度、残念であったのが、交通事故の増加である。特に、学年はじめ頃の1年生の事故が目立った。ここ数年着実に減少してきたが、今年度は、自転車と自動車の接触事故の増加が目立った。次年度への課題である。</p> <p>▲相談室登校も毎年数人出てきているが、教育相談室に常駐する教員がない為、養護教諭に負担がかかった。次年度に向けて、相談室の使用規定・常駐教員について見直しが必要である。</p>	<p>総合評価</p> <p>A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/></p>
<p>12 来年度に向けての改善方策案</p> <p>身だしなみに関しては、イエローカードの導入により、以前と比較するとスカート丈等、大幅に改善した。今後、女子のリボンの結び方や、ブレザーの前ボタンをとめること等を中心に端正な身だしなみの指導をしていきたい。また、靴下に関しては、次年度より男女共、白・黒・紺の3色の中からの選択させる方向で、検討している。ここ数年目立ってきたネット上での誹謗、中傷や、携帯マナー違反については、学校でのスマートフォンの使用制限を明確にしたことにより、ネットパトロールでの違反者数が激減した。しかし、掃除の時間に使用している生徒や、歩きスマホも見られるので、次年度に向けてスマホの使用についての指導の改善をしていきたい。また、今年度は、ユネスコスクールに認定され、ボランティア活動にも積極的に取り組み、MSリーダーズを中心に地域活動に取り組んできたので、次年度にさらに発展させていきたい。教育相談においては、M2DVや、迷惑調査を通して、迅速な対応ができるよう職員の共通理解を図りたい。</p>		

II 学校関係者評価

実施年月日：平成28年2月12日

【意見・要望・評価等】

- 生徒の問題行動の未然防止や早期対応には、先生方に強い気持ちで指導を望みます。
- 問題を起こす生徒を教師だけでなく地域も一体となって指導してけるとよい。
- 並列走行やスマートフォンを使用しながらの走行は大変危険ですので、注意喚起を宜しく願います。
- なぜ守らなければいけないか理屈付けが必要である。